

向陽高校普通科名古屋市科学館研修 2015/11/5

- * 科学館集合 13:30
- * サイエンスレクチャー 13:50~14:40
- * プラネタリウム鑑賞 15:20~16:10
- * 館内見学 16:10~

① サイエンスレクチャー

テーマ「街角の石材から見えてくる地球の変動」 西本 昌司 学芸員

大理石や御影石といった街中にあふれる石材を取り上げた。これらの学問上の分類である石灰岩（結晶質石灰岩）や花崗岩の成り立ちを検証することから、地球規模のプレートの動きとマグマの作用が相互に関わりあっていることを学んだ。花崗岩の形成には水の関与が必要で、海が存在する地球でのみ作られることができる。また、大理石に含まれる化石から古代の海に生息した生物、地球環境を考えることができる。また、石材名である「大理」、「御影」が地名に由来していること、日本での使用は20世紀に入ってからなど、興味を引く知識が満載であった。

② プラネタリウム鑑賞

講演の導入としてノーベル物理学賞を授賞した梶田隆章先生のニュートリノの業績の紹介から始まった。受賞理由であるニュートリノが質量をもつことを証明した実験手法とその論理が講義された。ドーム全体に映し出された「スーパーカミオカンデ」の映像は圧巻であった。最新のテーマから地動説・天動説まで遡り、天文学の歴史を俯瞰してとらえる形で進められた。天動説に至るきっかけとなった「惑星の逆行」をテーマに、その仕組みから惑星の天体における振る舞い、近い時期に見ることができる惑星に関する天体ショーである「惑星直列」や「金星の日面通過」が紹介された。最後に、「パワーズ・オブ・10」の解説と映像による演出で宇宙のスケールを実感することができた。

